

写真家の中村征夫さんの作品には、色とりどりの魚たちと共に暮らす不思議な生き物、サンゴが息づいています。そんな豊かなサンゴの海を、身近なものとしてはぐくみ学ぶヒントが〈野生の科学〉にあります。心と知をつなぐこの発想を、人類学者の中沢新一さんがやさしく解き明かしていただきます。それを踏まえて、パネリストたちがサンゴの海について、新たな観点から語り紡ぐことに挑みます。

はたして、その物語は皆さまの心に響くでしょうか。ご期待下さい。

日時

2015年
11月29日(日)
13:30~16:30 (12:30 開場)

会場

慶應義塾大学
三田キャンパス
南校舎5階ホール
(680席)



サンゴ、野生の科学と出遭う

- Le Corail Sauvage -

みんなdeコロキアム(無料公開シンポジウム)

●ゲストスピーカー

中沢新一 (明治大学・宗教人類学)

●ゲストフォトグラファー

中村征夫 (Squall・水中写真家)

●パネリスト

茅根 創 (東京大学)

鈴木 款 (静岡大学)

柳谷牧子 (環境省)

●司会

山口 徹 (慶應義塾大学)

深山直子 (東京経済大学)

同日開催 こちらも一般公開

日本サンゴ礁学会第18回大会

9:15-10:45

●オニヒトデはなぜ大量発生するか

●小島嶼国の国土保全策とその適用

●海水の本性に対応した炭素循環を担うサンゴ礁の形成過程とストレス

11:00-12:30

●サンゴの種苗生産と植え付け

●パラオ熱帯生物研究所の学際性に学ぶサンゴ礁研究

●Ocean acidification beyond tank experiment

主催：日本サンゴ礁学会

後援：慶應義塾大学

協賛企業(順不同)：ゼンスイ・エムエムシー企画・マメデザイン・ヤマナカ・クラマタ産業・アクア環境システムTOJO・旭光通商・地球科学研究所・タデエン・シーシーエス・ナモト貿易・サイエンスアイ・オリンパス・クレインワイズ・エムピージェー・芳龍社・ラディックス・マーフィード・マメチプロダクション

事務局：慶應義塾大学文学部・山口徹研究室

Eメール：jcrs18th@gmail.com

JCRS
Japanese Coral Reef
Society

Keio University



無料かつ予約不要です。皆様のお越しをお待ちしています。